

# ご あ い さ つ

国連気候変動枠組条約第 21 回締約国会議（COP21）で採択された「パリ協定」が、2020 年（令和 2 年）1 月から本格始動しています。国は、2020 年（令和 2 年）10 月には、2050 年（令和 32 年）までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「2050 年カーボンニュートラル」をめざすことを宣言しました。

また、2021 年（令和 3 年）10 月に閣議決定された「地球温暖化対策計画」では、温室効果ガス排出量の削減目標を 2030 年度（令和 12 年度）において、2013 年度（平成 25 年度）比で 46%をめざすこと、さらに 50%の高みに向けて挑戦することを定め、脱炭素化の取組を進めています。

本市では、2018 年度（平成 30 年度）に策定した「第二次福山市環境基本計画」に基づき、温室効果ガスの排出を抑制するため、本市などが出資した地域新電力会社「福山未来エネルギー株式会社」と連携し、備後圏域内から調達した低炭素な電力を公共施設に供給する取組を行っています。また、公共施設への太陽光発電設備の導入を促進するなど、再生可能エネルギーの地産地消に取り組んでいます。

また、新たなごみ処理施設については、2024 年度（令和 6 年度）の供用開始に向け、2021 年（令和 3 年）9 月から工事を開始し、本年 8 月にプラント工事に着工しました。本施設は、府中市と神石高原町との広域処理を行い、熱エネルギーを利用した発電や焼却灰の資源化などにより、更なる循環型社会の構築をめざすものであります。

今後も、市民・事業者・行政など多様な主体が一体となり、本市のめざす環境像「みんなで創り 未来につなぐ 豊かな自然と快適な暮らしが調和したまち福山～持続可能な社会の実現をめざして～」に向けて取り組んでまいります。

本書は、「第二次福山市環境基本計画」の年次報告書として取りまとめたものです。

この冊子が、環境負荷の少ない持続可能な社会の構築をめざすに当たり、市民の皆様にとって環境問題への理解と関心を深め、具体的行動を踏み出すための一助となれば幸いに存じます。

2022 年（令和 4 年）9 月  
福山市長 枝広 直幹

